

公共政策論

担当教員： 金 淳植

履修年次・区分： 2年（専門一基幹【必修】）

授業のテーマ： 講義前半では公共政策の経済学的基礎を、後半は都市・地域と公共政策のかかわりに関して学習する。都市・地域の中で展開される現代公共政策の実態について検討し、公共政策のための資源調達方法や費用負担のあり方、政策実現の主体や基準について考える。

この日の授業内容： 公共財と選択の技法



「ゲーム理論」は、数学の一分野ですが、政治学や心理学、生物学、そして経済学にも応用されています。駆け引きする「相手の行動を読んで、それにもっとも合うよう行動する」のがゲーム理論の基礎。経済を学ぶと、交渉や駆け引きに強くなるのです。

経済学とは、財とサービスの供給とニーズによって成立します。では、公共財とは何でしょうか。

「この服、マイク、講義室といったものは全て財です。そのうち公共性を持つものが公共財ですか？大学は？鉄道はどうでしょう？電気や水道やガスは？」丁寧な解説に学生たちは聞き入っています。

(2015年7月取材)